

海中転落者救助等展示訓練・心肺蘇生法講習会を実施

和歌山海上保安部では、船舶関係者に水難事故防止への意識を高めてもらうため、平成24年7月31日に和歌山マリーナシティヨットクラブ内海域で、和歌山海上保安部職員及び関西空港海上保安航空基地の機動救難士3名による、プレジャーボート利用者・マリーナ関係者・海上安全指導員の計10名、福島県郡山市の小学5年生と引率者の約100名に対して、海中転落者救助等展示訓練を実施しました。

訓練では、プレジャーボートからライフジャケット未着用の乗船者が海に転落し、機動救難士がゴムボートで救助するというもので、スクリーンさながらの海猿の活躍に見学者から歓声が上がりました。

また、午後からは関西空港海上保安航空基地の機動救難士3名が講師となり、プレジャーボート利用者・マリーナ関係者・海上安全指導員の計20名を対象にCPR・AED学習キットを使用した心肺蘇生法講習会も実施しました。

講習会では、機動救難士3名によるデモンストレーションも行われ、大切な人の命を救うため熱心に講習を受けていました。



救助作業にあたる関空保安航空基地機動救難士及び当部職員



機動救難士によるデモンストレーション